

FlashCheck[®]

大画面自動校正機能付ラボ用プローブ温度計

- 本製品は、丸みのある先端プローブを採用しているので実験ラボや動物の体温測定などの用途にもご使用が可能です。
- NSF (米国国立科学財団) 認定のHACCPツールです。
- 食品用途でご使用の場合、電子レンジでの加熱には温度のムラがあります。数か所の温度をチェックして下さい。
※食品にとって危険とされる温度範囲は5℃～60℃で、バクテリアの増殖速度が非常に早くなり温度管理が大切です。

製品仕様

温度測定範囲:	-40℃ ~ 155℃
温度測定精度:	±0.5℃ (-40℃ ~ -10℃、+21℃ ~ +115℃) ±0.3℃ (-10℃ ~ +20℃) ±1.0℃ (116℃ ~ 155℃)
温度表示分解能:	0.1℃
動作環境温度:	0℃ ~ 50℃
反応速度:	0℃ ~ 25℃で6秒以内
温度表示画面サイズ:	38mm × 12.7mm / 2秒毎更新
防水性能:	IP56 防滴仕様 (水やホコリの影響を受けにくい設計です)
電池規格:	(LR44) 1.5Vアルカリボタン電池 × 1個
節電機能:	10分間操作しないと自動的に電源オフ
プローブ外寸:	99mm (長さ) × 3.56mmφ (径)、(先端径1.7mmφ)
製品外寸:	25mm (幅) × 18mm (奥行) × 175mm (長さ)
筐体材質:	ABS樹脂
出荷時温度校正:	ロット毎にNISTトレーサブルな校正を実施
規格・認証:	CE マーク、NIST トレーサブル、RoHS対応、NSF認定、HACCPツール

使用方法

- 電源ボタンを入れます。
- プローブを対象物に刺し、温度数値が安定するまで固定してください。
- 使用後は、電源ボタンを押して、電源を切って下さい。

温度校正の手順

【温度校正実施前に必ずお読み下さい】

1. カップにクラッシュアイスと水を加えて氷水を準備してください。(0℃の温度環境を準備します。)
 - ※厳密な校正を行う場合は、蒸留水と蒸留水で作られた氷のご使用をお勧めします。
 2. 本体の電源を入れて、1で準備をしたカップにプローブ温度計を入れてください。
 3. 15秒間ほどかき混ぜた後、プローブ部分をカップの真ん中に入れてください。
 - ※プローブ部分がカップの端に接触しないようご注意ください。
 - ※温度計が0℃を表示した場合、校正は不要です。そのままご使用下さい。
 4. 「CAL」ボタンを2秒間押し続けてください。その後「CAL」の表示がLCD画面に表示されて、自動で温度校正を行います。
 5. 自動校正完了後、温度計は0℃を表示し、通常通りご使用出来ます。
 - ※0℃以下の温度を表示された場合は上記2から再度行って下さい。
- 【重要】
- 温度校正が行われている間、プローブ先端は完全に水の中に浸けて下さい。
 - LCD画面に「CAL」が表示された後、温度計は自動的に下記の事を行います：
 - a. 測定値が安定するまで測定を続けます。
 - b. 測定値が安定すると、数値の前に「C」が表示されます。
 - c. 温度校正が完了すると、自動的に操作ができる状態に戻ります。
 - 最初の測定値が2℃以上の場合、「Err 1」がLCD画面に表示されます。その場合は一旦電源を切り、再起動した後に上記2の手順から再度実施して下さい。
 - 平均測定値が±0.3℃の許容範囲を超えると「Err 2」がLCD画面に表示されます。その場合は一旦電源を切り、再起動した後に上記2の手順から再度実施して下さい。

製品の保証につきましては弊社ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.dtijapan.co.jp/support/warranty>

 DeltaTrak[®]

〒559-0034
大阪府大阪市住之江区南港北2丁目1番10号
アジア太平洋トレードセンターITM棟 4階
電話：06-6616-5900
Fax：06-6616-5902
Email：salesinfo@dtijapan.co.jp
© 2020 DeltaTrak, Inc.
Patent No. 5,709,476/5,801,968



製品詳細



4 560462 730427

Made in China 5523 2013 J20J05HM